



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

証券コード 2270

# 個人投資家様向け 会社説明会



2014年11月



1

## 本日のご説明内容



未来は、ミルクの中にある。  
雪印メグミルク

1. 会社概要・沿革

2. 事業内容

3. 中期経営計画（平成26年度～平成28年度）

4. 業績の状況（当期計画と上期実績）

5. 株主・投資家のみなさまへ

2

## 1. 会社概要・沿革

## 2. 事業内容

## 3. 中期経営計画（平成26年度～平成28年度）

## 4. 業績の状況（当期計画と上期実績）

## 5. 株主・投資家のみなさまへ

3

## 会社概要

1	商号	雪印メグミルク株式会社 MEGMILK SNOW BRAND Co.,Ltd.
2	設立年月日	平成21年10月1日
3	本店所在地	(本社)東京都新宿区本塩町13番地 (登記上本店)北海道札幌市東区苗穂町6丁目1番1号
4	資本金	200億円
5	代表取締役	代表取締役社長 中野 吉晴
6	上場取引所	東京証券取引所、札幌証券取引所
7	従業員数	4,969名(連結、平成26年9月30日)

4

# 沿革① 創立と商品の歴史

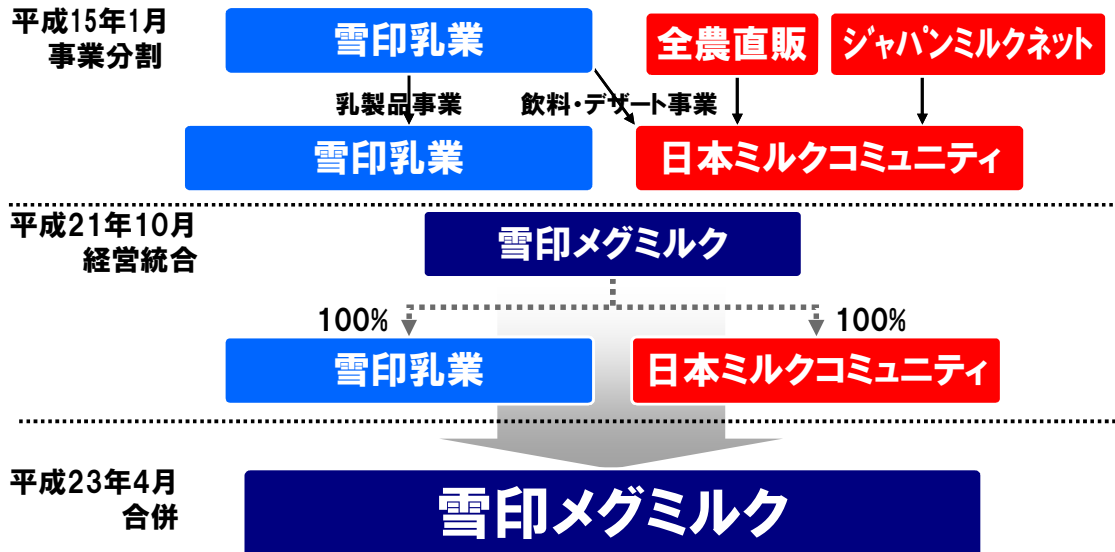
- 大正14年 (1925年) 「北海道製酪販売組合」創立 バター製造を開始
- 昭和25年 (1950年) 雪印乳業(株) 発足
- 昭和29年 (1954年) 「雪印6Pチーズ」発売開始
- 昭和37年 (1962年) 「雪印スライスチーズ」発売開始
- 昭和43年 (1968年) 「雪印ネオマーガリンソフト」発売開始
- 昭和54年 (1979年) 「雪印ナチュレ(プレーンヨーグルト)」発売開始
- 昭和55年 (1980年) 「雪印ストリングチーズ(現さけるチーズ)」発売開始
- 平成5年 (1993年) 「雪印毎日骨太(乳飲料)」発売開始
- 平成19年 (2007年) 「雪印北海道100ブランド」立ち上げ
- 平成26年 (2014年) 「雪印メグミルク牛乳」発売開始



日本の乳製品のパイオニアであり、数々のロングセラー商品を生み出し  
今でもご愛顧いただいております。

# 沿革② 2つの事件

- 平成12年6月 雪印乳業食中毒事件
- 平成14年1月 雪印食品牛肉偽装事件
- 平成15年1月 事業分割



平成23年(2011年)4月に、雪印乳業と日本ミルクコミュニティが  
合併して、雪印メグミルクが誕生しました。

## 2つの事件を受けて①

### 食の責任を強く認識し、果たしていくことを誓う日の活動 ～雪印の事件を風化させない～

- 毎年、2つの事件が発生した6月と1月に実施しています。
- 社外有識者による講演、品質に関する理解度テストの実施、食中毒事件当時の報道番組の視聴などを行ってきました。
- 今年の6月は、新しい試みとして社員によるパネルディスカッションを行いました。



7

## 2つの事件を受けて②

### 企業倫理委員会

#### 3つの専門部会



品質部会

消費者部会

表示部会

経営における透明性の確保と、社外からの監視機能の強化、環境の変化に即応できる経営体制の確立を柱に企業価値を向上させていくことを基本方針としています。

8

## 私たちの使命

消費者重視経営の  
実践

酪農生産への貢献

「乳(ミルク)」にこだわる

## コーポレートスローガン

未来は、ミルクの中にある。

企業理念は、3つの「私たちの使命」と「コーポレート・スローガン」で構成されています。

9

1. 会社概要・沿革

2. 事業内容

3. 中期経営計画（平成26年度～平成28年度）

4. 業績の状況（当期計画と上期実績）

5. 株主・投資家のみなさまへ

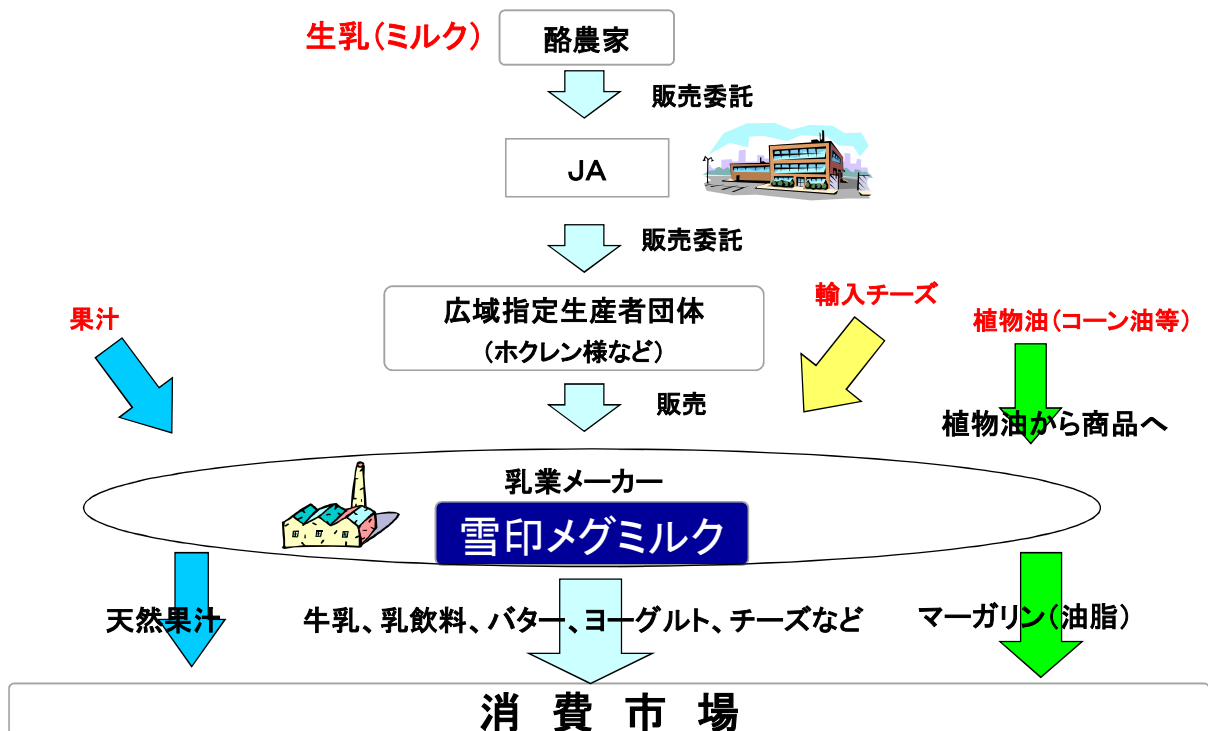
10

## グループ各社の事業領域



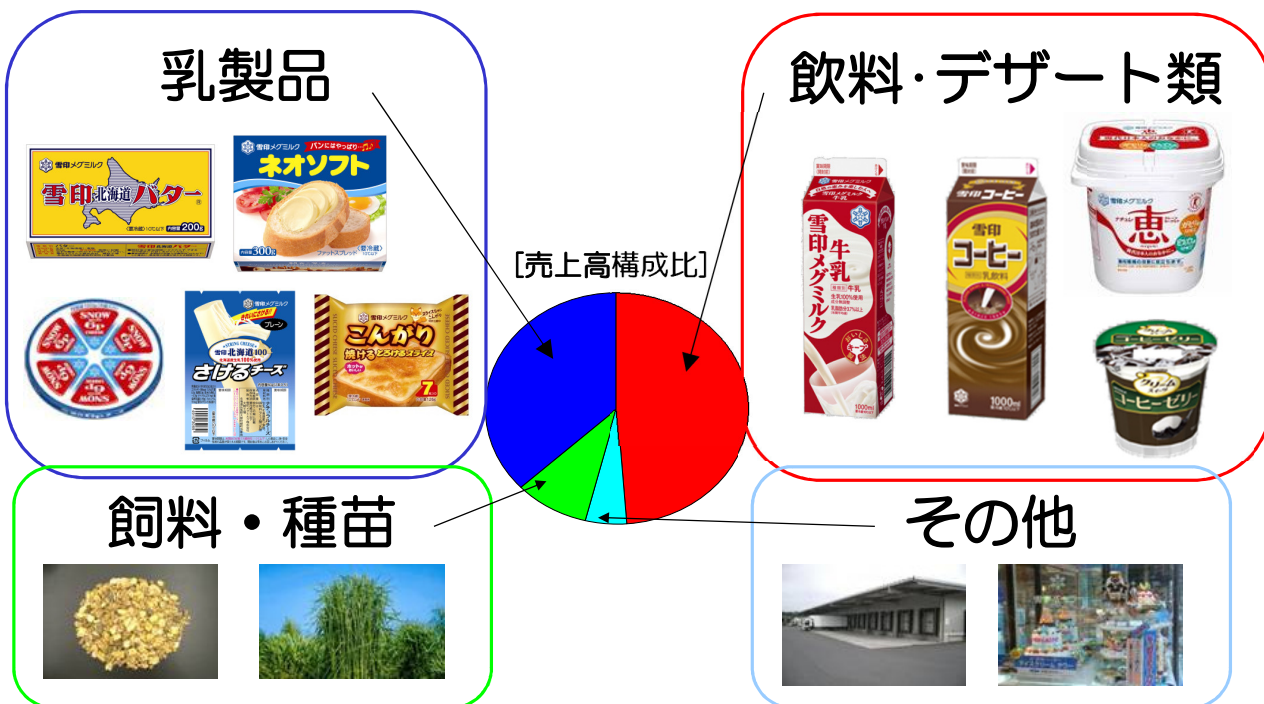
乳に関連した事業を幅広く展開しています。

## 事業のしくみ(概要)



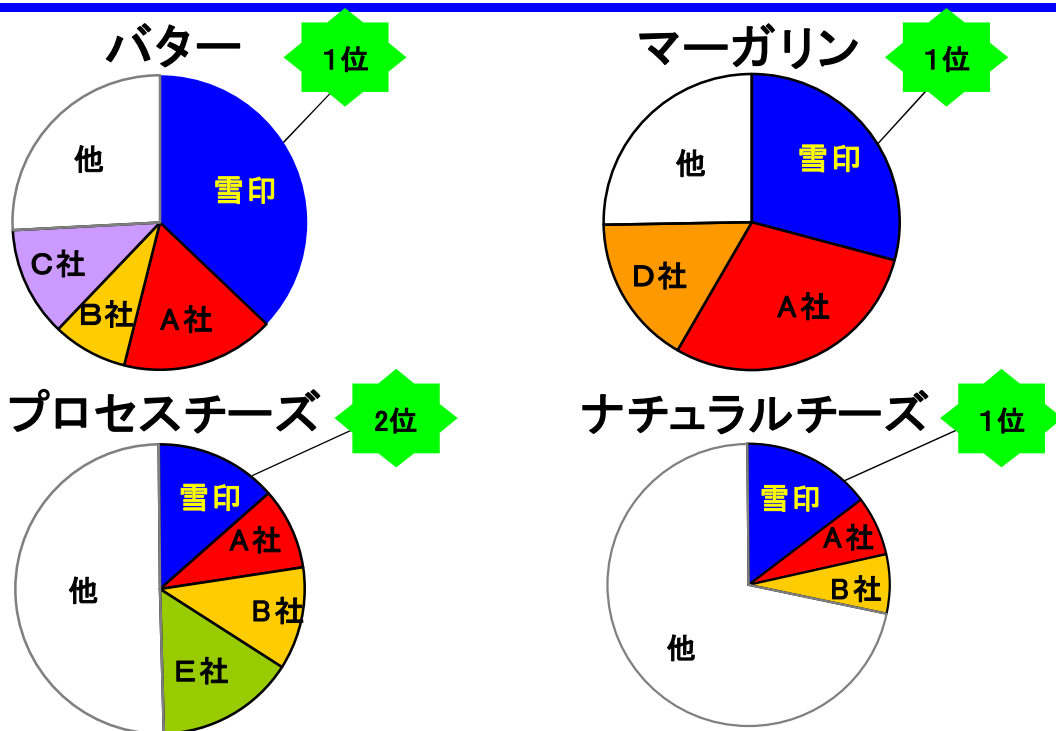
生乳を原料とする事業が核となっています。

# 4つのセグメント



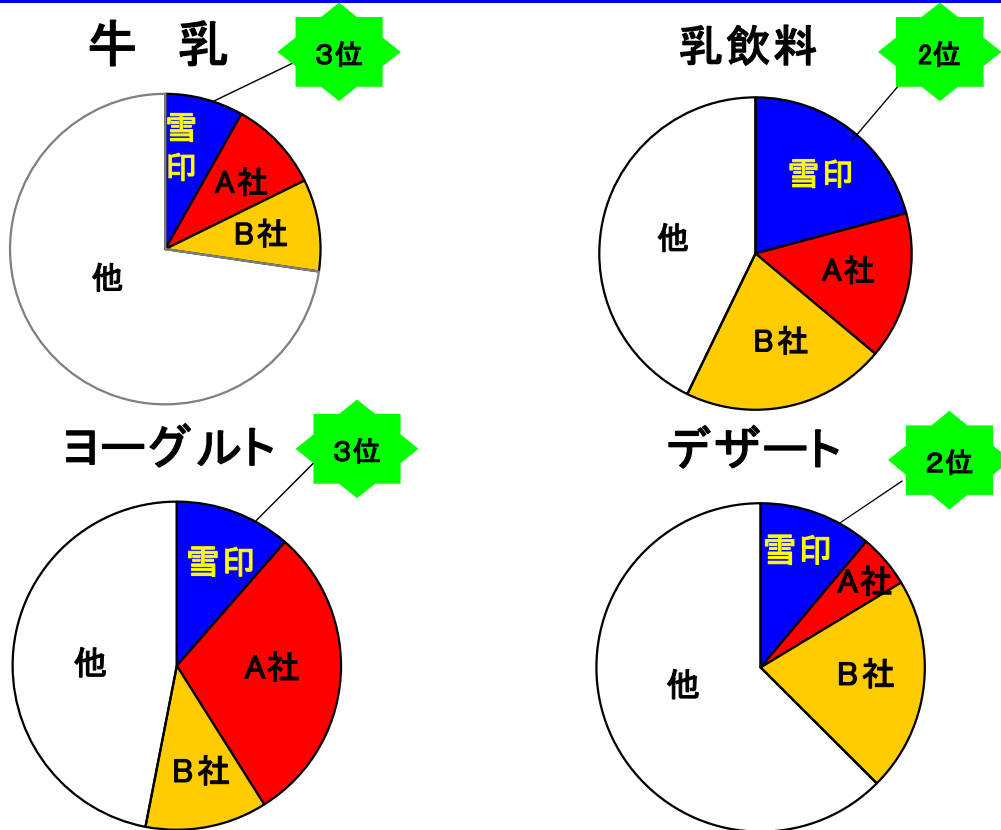
「乳製品」「飲料・デザート類」セグメントで約85%を占めます。

# 家庭用主要商品群シェア①



皆さまにご愛顧いただいている結果、家庭用主要商品群で、高い市場シェアを持っているのが当社の特長であり強みです。

# 家庭用主要商品群シェア②



15

# 業界をリードする研究・技術開発力

「乳」に関する研究開発を

「おいしさ」と「乳の機能性」

の両面で実施しています！

さけるチーズ製法



切れてるバター製法



ガセリ菌SP株



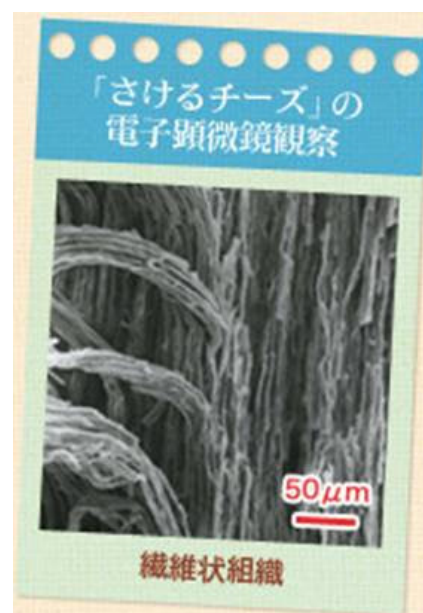
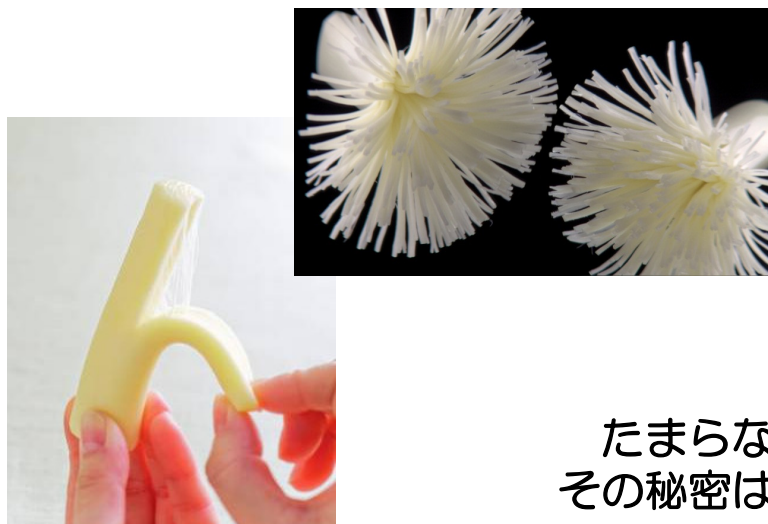
MBP®



16



「さけるチーズ」が、きれいに気持ちよく  
“さける”のは、チーズ中のたんぱく質が  
完全には分解されずに、ほどよく残った  
状態にして、それを伸ばして冷やすから  
なのです！

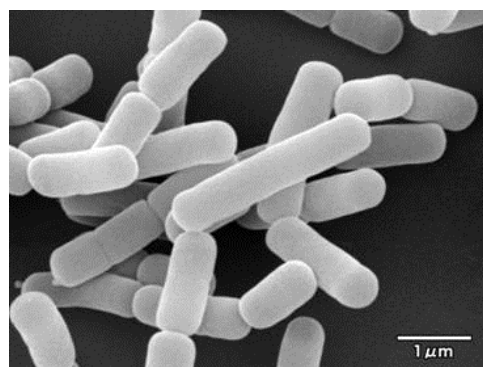


たまらなくクセになる食感！  
その秘密は、繊維状の組織です。

17

### 【主な学会発表】

- 2012.09.28 内臓脂肪蓄積抑制作用について
- 2012.10.16 歯周病に対する抗炎症作用について
- 2012.10.18 免疫系の活性化とストレス軽減効果について
- 2012.12.04 インフルエンザウィルスに対する感染予防効果について
- 2013.03.25 高脂血症を伴う過体重の日本人の食後脂質代謝改善効果について
- 2013.06.05 線虫の寿命延長とその作用機構について
- 2013.06.13 肺および腸管の免疫機能強化の可能性について
- 2014.10.09 インフルエンザウィルスの感染予防効果メカニズム解明について



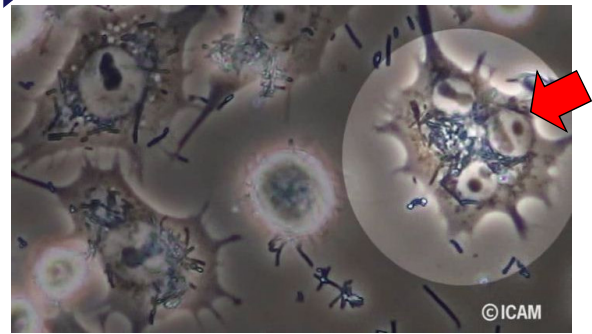
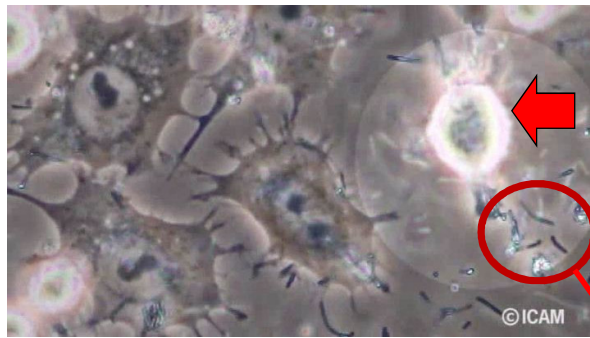
引き続き、乳製品を通じて、人々の食と健康を支える研究に取り組みます。

18

## ガセリ菌SP株投与により 免疫細胞が活性化された！

①免疫細胞(マクロファージ)が  
ガセリ菌SP株をとりこんだ状態

②触手が伸びて、免疫細胞(矢印)が  
活性化の様子



ガセリ菌SP株(黒っぽい細長いもの)

## 新商品のご紹介①

### 雪ミルク



従来のミルクにはない  
さらさらのおいしさを楽しめる  
シルクのような口当たりのミルク

- ・ ①シルキーミルク製法
  - 風味の差別化
  - 賞味期間の延長
- ・ ②新容器の採用
  - 紙パックの不満点の解消
  - 2人以下世帯の増加に対応する中容量

## ロイズチーズデザート6P



付加価値のある  
スイーツ系チーズご提案による  
チーズの需要喚起



## ミルクの木

生乳は栄養価が豊富でそれぞれの機能性を活かした、付加価値の高いおいしい商品に生まれ変わっていきます。

【機能性素材】

MBP®



【機能性素材】

ミルクセラミドMC-5



ミルクサイエンス研究所(外観)

1. 会社概要・沿革

2. 事業内容

3. 中期経営計画（平成26年度～平成28年度）

4. 業績の状況（当期計画と上期実績）

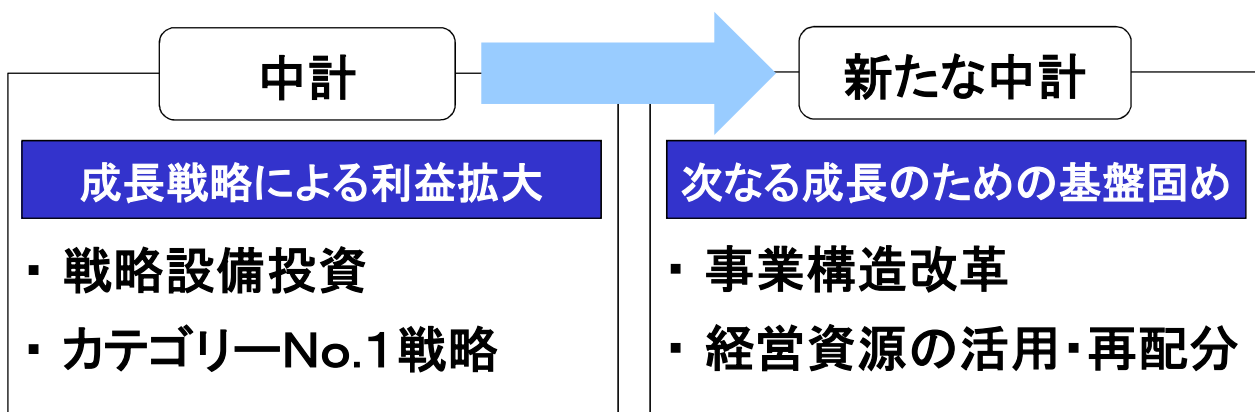
5. 株主・投資家のみなさまへ

23

## 新たな中期経営計画への移行

急激なコストアップなど経営環境が大きく変化

国内外の乳製品需給の逼迫やコストアップは継続



1年前倒して、新たな中期経営計画へ移行

24

計画期間

平成26年度～平成28年度の3年間

4点の取組みの柱

1. 事業構造改革

2. 戦略投資設備の最大活用

3. 成長分野の事業拡大

4. 機能強化と体制整備

持続的成長を可能とする収益基盤の構築

25

## 1. 事業構造改革

(1) プロダクトミックスの改善

(2) 生産ライン・アイテムの最適化

(3) 業務効率化によるコストダウン

(4) コストアップ対応策の早期実現

厳しい環境下でも安定的に利益を生み出すため、  
事業構造改革に取り組み、収益性を向上させてまいります。

26

## 2. 戦略投資設備の最大活用

海老名工場や阿見工場を最大限活用

海老名工場

平成26年4月から本格稼働

阿見工場

平成26年度下期に本格稼働

- (1) 安定稼働
- (2) 高い生産性の確保
- (3) 5工場の閉鎖・集約

合理化メリットを早期に実現し、  
収益構造の改革を図ってまいります。

27

## 3. 成長分野の事業拡大

継続的成長分野

ヨーグルト

ナチュラルチーズ

業務用チーズ

新規分野

機能性食品事業

海外事業

成長分野に経営資源を重点配分し、  
事業の育成と拡大を図ってまいります。

28

## 4. 機能強化と体制整備



事業構造改革や成長分野の事業拡大の取組みを支えるため、機能強化と体制整備に取り組んでまいります。

## カテゴリーNo.1戦略の推進

重点カテゴリー

乳飲料



ヨーグルト



ナチュラルチーズ



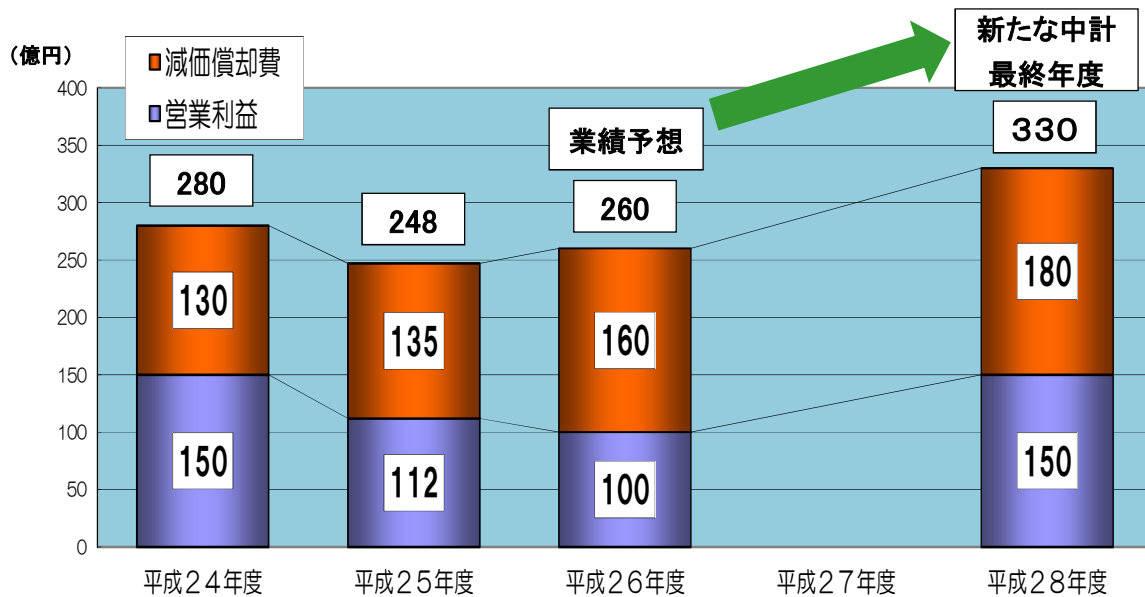
プロセスチーズ



平成28年度目標数値

連結営業利益 130～150億円

連結EBITDA 310～330億円



平成26年度をボトムとして、着実に利益を積上げてまいります。

31

1. 会社概要・沿革

2. 事業内容

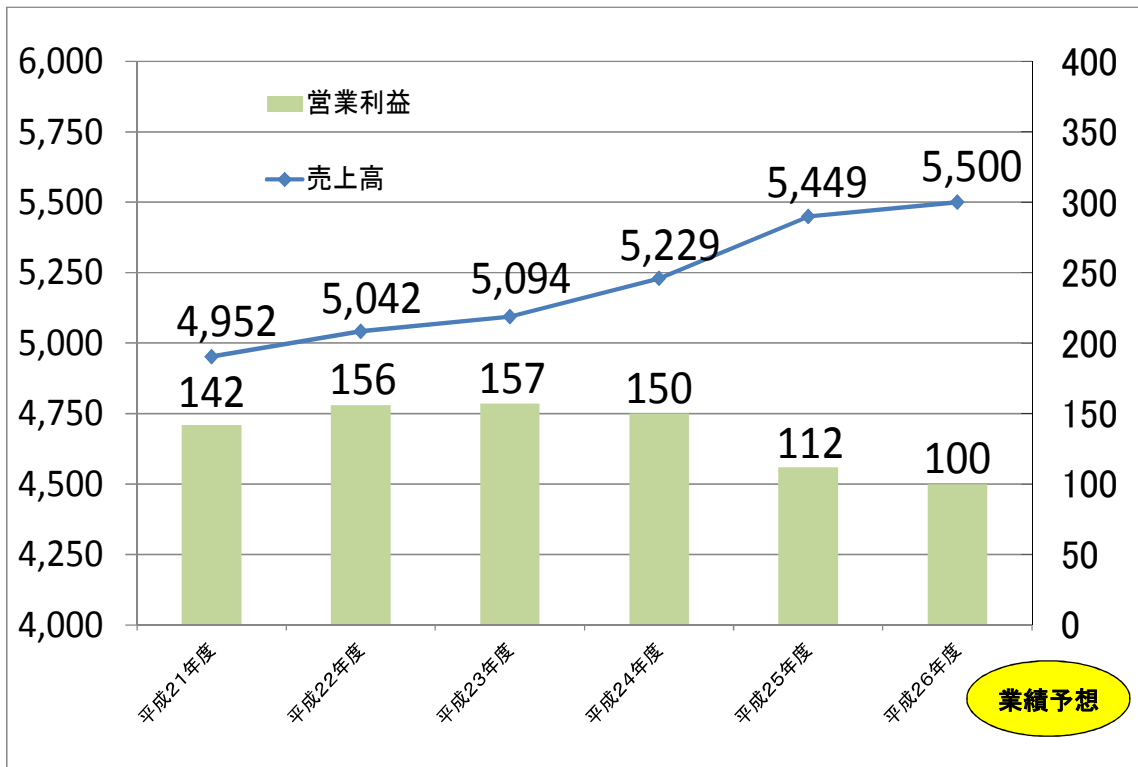
3. 中期経営計画（平成26年度～平成28年度）

4. 業績の状況（当期計画と上期実績）

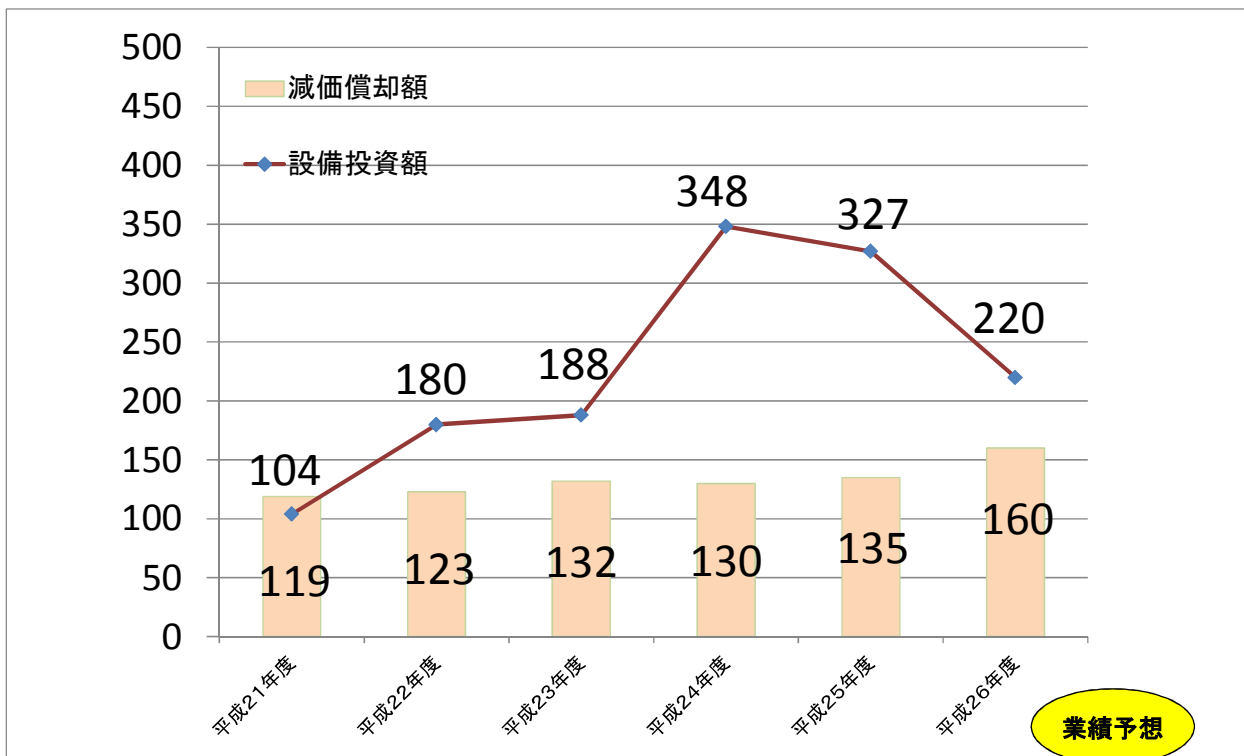
5. 株主・投資家のみなさまへ



# 業績推移①



# 業績推移②



# 平成27年3月期(26年度)連結業績予想



## 1. 経営成績

(億円、%)

項目	平成26年 3月期	平成27年 3月期予想	増減額	前期比
売上高	5,449	5,500	+50	100.9
営業利益	112	100	△12	89.0
経常利益	97	105	+7	107.6
当期純利益	25	55	+29	214.0

## 3. 配当

普通配当	30円
連結配当性向	37.0%

## 2. セグメント別

項目	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比	業績予想	前期比
売上高	2,060	102.8	2,642	100.4	481	98.5	317	98.0
営業利益	77	68.2	0	+	8	83.4	14	85.3

平成26年度計画は増収減益ですが、配当は30円を継続いたします。

35

# 平成26年度上期 連結業績



## 1. 経営成績

(億円、%)

	平成26年 3月期	平成27年 3月期	増減額	前期比	業績予想	予想比
売上高	2,756	2,768	+11	100.4	2,800	98.9
営業利益	68	51	△16	75.1	45	113.8
経常利益	69	55	△13	80.1	50	111.8
純利益	39	22	△16	58.0	25	91.9

## 2. セグメント別

	乳製品		飲料・デザート類		飼料・種苗		その他	
	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比	実績	前期比
売上高	1,010	105.2	1,337	97.2	248	97.4	171	104.0
営業利益	36	73.9	△0	—	11	124.1	4	51.5

36

# 上期連結営業利益の増減要因

## 前期比較

前期	当期	増減額
68	51	△16

(億円)

## 業績予想比較

業績予想	当期	増減額
45	51	+6

減益要因 合計		△77
資材単価差等	△50	△30
乳価差		△20
販売物量減少による利益減		△14
減価償却費の増加		△5
固定費の増加		△3
その他		△5

増益要因 合計		+61
販売単価差	+33	+24
コストダウン		+9
宣伝促進費の減少		+16
製品構成差		+6
のれんの償却費		+6

37

# カテゴリーNo.1戦略の推進

平成27年3月期(平成26年度)上期 実績

重点カテゴリー	売上高 前期比	シェア	順位
乳飲料	96%	18.9%	2位
ヨーグルト	100%	11.6%	3位
ナチュラルチーズ	105%	22.3%	1位
プロセスチーズ	102%	18.9%	2位

38

## 1. コストアップ対応策の実現

## 2. 生産物流機能の円滑な移管

## 3. プロダクトミックスの改善

39

# コストアップ対応策の実現

## 価格改定および容量変更

7月 家庭用バター商品の価格改定

8月 家庭用チーズ商品(カマンベールチーズ等)の価格改定

9月 { 家庭用市乳商品(プレーンヨーグルト等)の価格改定  
さけるチーズの容量変更 (CVS用は、容量変更および価格改定で10月実施)

## コストダウンの取組み

・業務効率化によるコストダウン

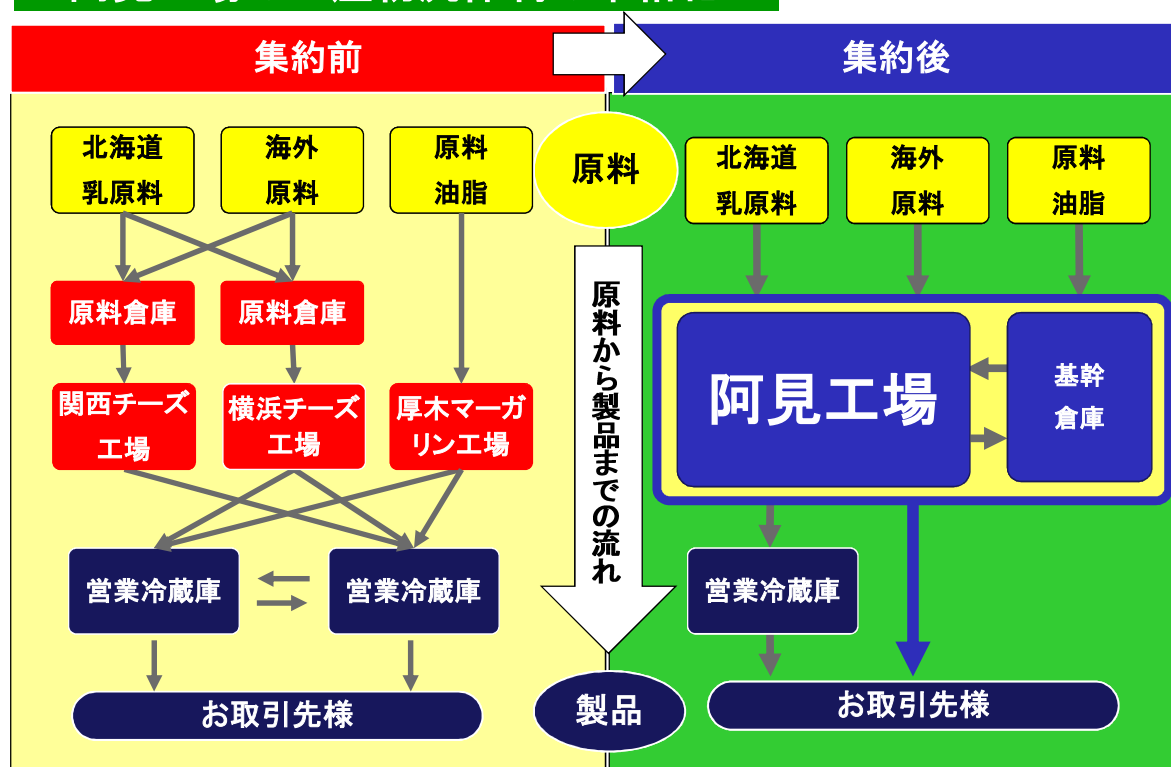
海老名工場への集約による  
合理化メリット



海老名工場

40

## 阿見工場の生産物流体制の本格化



41

## プロダクトミックスの改善

- ・嗜好性変化への対応
- ・需給変動への対応
- ・高収益商品へのシフト

1. 低迷する牛乳市場の活性化

2. 油脂事業の強化

3. 乳酸菌戦略によるヨーグルトの拡売

42

## インドネシアでのプロセスチーズ事業展開

**PT. MEGMILK SNOW BRAND INDONESIA**  
(平成24年5月設立)

出資比率	
雪印メグミルク	51%
ロダマス社	40%
伊藤忠商事	9%



常温プロセスチーズの生産・販売開始



このほか、様々な事業機会の探索もすすめていきます。

## 他社との連携の取組み

平成24年2月 共同取組

**よつ葉乳業グループ**

**酪農生産の基盤安定**

生産

物流

資材調達

平成24年5月 業務提携    平成24年11月 資本・業務提携

**協同乳業グループ**

**コスト競争力強化**

生産

物流

資材調達

営業

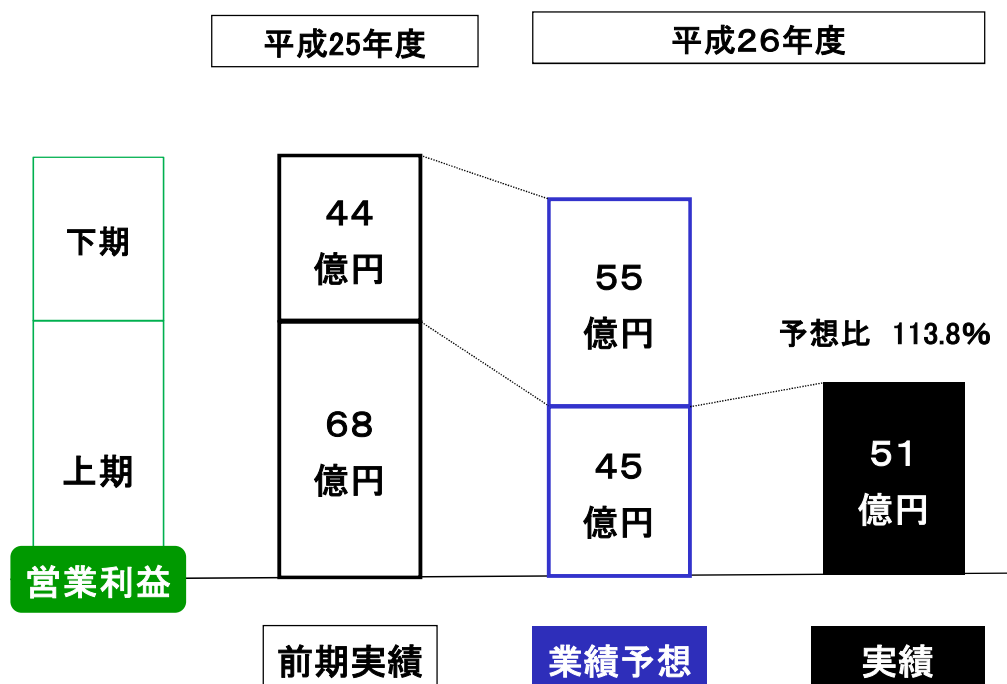
平成26年9月 資本・業務提携

**SBSホールディングスおよびSBSフレック**

物流

**乳製品・市乳等の製品輸送インフラの安定維持**

自社だけでは困難な拡大や効率化を共同で実現



45

1. 会社概要・沿革

2. 事業内容

3. 中期経営計画（平成26年度～平成28年度）

4. 業績の状況（当期計画と上期実績）

5. 株主・投資家のみなさまへ

46

## 社会貢献活動①

### 酪農と乳の歴史館(札幌市東区苗穂町)

- 日本の酪農、乳業の発展の歴史をお伝えします。
- 平成16年に北海道遺産に、館内の史料は平成21年に国の近代化産業遺産に登録されています。
- 毎年約2万人の見学者をお迎えしています。



～ 見学のご案内 ～  
☆予約制 011-704-2329  
(電話受付 9:00～17:00)  
土・日・祝祭日はお休みです。

47

## 社会貢献活動②

### スキージャンプ部の活動を通じたスポーツ振興

雪印メグミルクスキー部



← 原田 当社スキー部 監督

岡部 当社スキー部 コーチ →



48



### 特殊ミルクの製造と供給

2013年2月に新医薬品工場を設立し、供給体制を整備。



49

## 株主のみなさまに

### 株主還元の基本方針

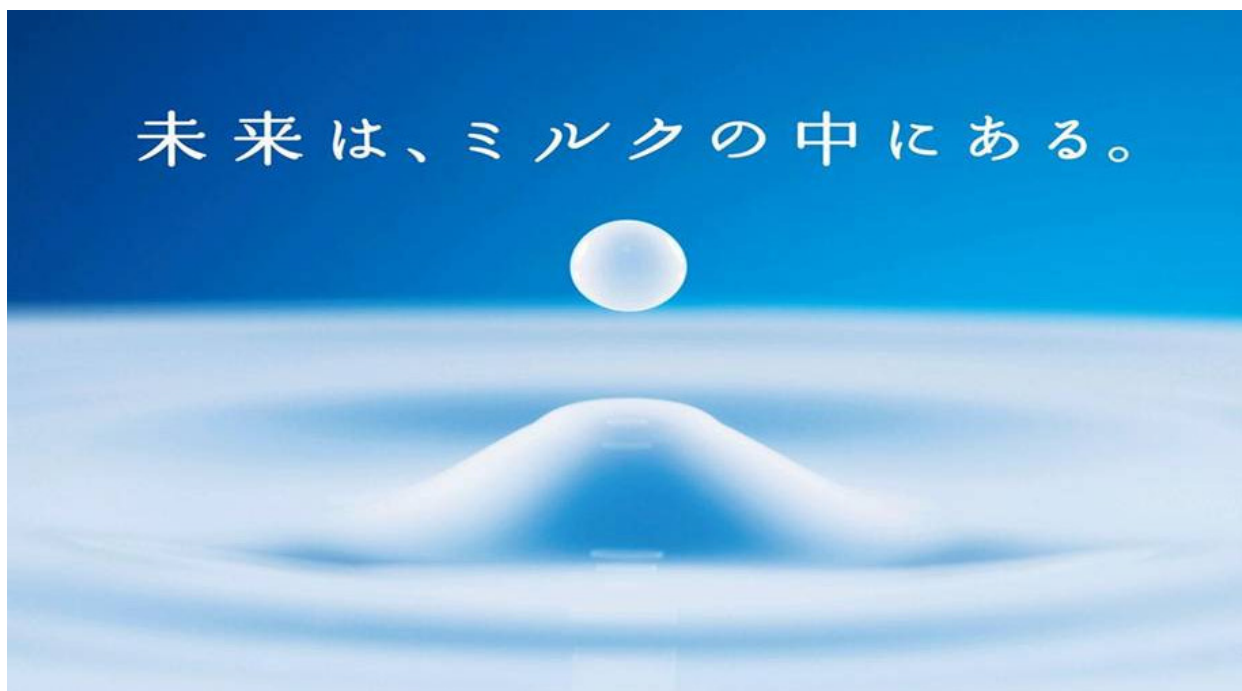
連結配当性向20%以上を目指します。

### 情報開示の基本方針

お客様・消費者、株主をはじめとするすべてのステークホルダーの信頼が得られるように、正確な企業情報を適時に開示し、透明性のある経営を実践いたします。

50

# 本日はありがとうございました！



本資料中の見通しや目標等、将来に関する記載事項は、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の種々の要因によって、本資料の記載事項と異なる場合があります。また、業績予想に関する数値等は、今後予告なしに変更されることがありますので、予めご承知おきください。